

自分自身に誇りを持ち、自他を尊重し、未来を切り拓く人間の育成

伊里中だより

# 夢の中へ

令和6年5月31日  
備前市立伊里中学校

校訓  
自律・愛・創造

いよいよ明日から6月です。梅雨の走りのような雨も多くなってまいりました。新年度が始まって2ヶ月がたち、生徒たちは徐々に学校生活に慣れてきた様です。授業はもちろんのこと、学校行事や生徒会活動、部活動など様々な場面で生徒たちの頑張っている姿が見られます。

## 校外学習を実施しました!!

中学校ではさまざまな学校行事がありますが、その中でも生徒たちが楽しみにしている学校行事の1つに「校外学習」があります。どの学年も校外学習に向けて「目的」を明確にして取り組んできました。校外学習の目的として「学校の外で新しい経験をすることによって学びを深めること」が挙げられます。校外学習を通して生徒たちの成長した姿が見られました。

### 3年生・修学旅行（沖縄方面）

5月10日（金）～12日（日）に2泊3日で沖縄に行きました。3日間とも天候に恵まれ思う存分沖縄を満喫しました。1日目は、ひめゆり平和祈念資料館の見学、沖縄平和祈念公園での平和集会、糸数壕でのガンマ体験。2日目は、マリンスポーツ体験、美ら海水族館の見学、民泊体験。3日目は、国際通りでの班別自主研修、おきなわワールドの見学でした。沖縄の自然や文化について見聞を広め、平和の尊さについて学ぶことができました。



### 2年生・広島研修

5月16日（木）に広島に行きました。研修内容は、広島平和記念公園での平和集会、語り部による講話、平和記念資料館の見学、原爆ドーム周辺の班別自主研修を行いました。平和についてしっかり学ぶとともに、集団学習を通して集団行動のルールやマナーについても学びました。



### 1年生・閑谷研修

5月17日（金）に閑谷学校に行きました。研修内容は、閑谷学校での講堂学習、野外炊事を行いました。野外炊事ではカレーライスを作りました。閑谷学校の歴史や文化を学ぶとともに、班活動で協力することの大切さについて学ぶことができました。



～保護者の皆様へ～

学校としては「生徒には、さまざまな機会に、多くのことを体験させたい」という方針で取り組んでいます。特に「校外学習」は、集団生活やリーダーシップ、人間関係、講師など目上の人との関わりを学ぶ貴重な体験になります。「人として成長する」ことを目的に取り組んでいます。今回の修学旅行や広島研修では、朝早い時間の出発、夜遅い時間の帰宅になり、大変お世話になりました。ご理解とご協力に感謝いたします。

## 体育会に向けて

生徒たちは、明日行われる体育会に向けて一生懸命頑張っています。本校の特色は「ブロック制」で行われることです。各学年3つのブロック（赤・黄・青）に分かれて縦割りで競います。生徒の自主的な競技運営ができるように、体育長、体育会実行委員、ソーラン実行委員、ブロック長などに運営を任せています。5月20日（月）からは学校全体が体育会モードにシフトチェンジをして取り組んでいます。午後は体育会の全体練習、放課後はそれぞれのブロックに分かれてのブロック練習です。どの場面でも3年生がそれぞれの活動の中心で頑張ってくれています。いよいよ明日が本番です。今までの成果を十分に発揮してくれることと思います。保護者の皆様も生徒たちに熱い声援をよろしくお願ひします。



## 論語学習

本校では、毎月1回立花尚先生をお招きして、論語の学習をしています。伊里中学校の生徒たちのために、毎月題材を選んで紹介していただきます。論語を全員で朗読し、意味を教えてください。「論語」は、多くの弟子たちが孔子の言葉や教えを書き記したもので、人間社会の中で、人としてどう生きたらよいのか、大切な知恵がいっぱい詰まっているものです。今年度は、学習したことを「振り返る」取り組みを進めています。論語の学習を通して、自分の生き方につなげてくれたらと思います。

### 【今月の論語】

#### 人が一生大切にしていかなければならないもの

子貢問いて曰く、

「一言にして以て終身之を行う可き者有りや」

子曰く、

「それ恕か。己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ」

（訳文）孔子の弟子である子貢が、孔子に尋ねた。

「一言で言い表せる言葉で、我々人間が生涯心がけ、大切にしていけるものがあるとなれば何でしょうか」

孔子が言われた。

「それは恕、すなわち人を思いやる心だよ。たとえば、自分がして欲しくないようなことは、他の人にしてはいけない」

## 編集後記

伊里中学校に来て感銘を受けたことの1つが「論語学習」です。月に1回論語を学ぶ機会がある学校はなかなかありません。毎月来てくださる立花先生には感謝の気持ちしかありません。ただ、せっかく学んでも、その「学び」が生活に生かされなければもったいないと思います。そこで今年から、学んだことを「振り返り」自分が思ったことや感じたことなどを記述するようにしました。「関谷学校」のある学区であるからこそ、しっかり論語と向き合っていきたいし、この地域の歴史や文化を学んでいきたいと思っています。「地域のことを誇りに思える」そんな人を育てていきたい思います。

また今週より、中谷優希（なかたにゆうき）先生と大崎正嗣（おおさきまさひで）先生が教育実習に来られています。どうぞよろしくお願ひします。